

新型コロナウイルス感染症 について

令和3年2月17日
神戸市保健所 予防衛生課

新型コロナウイルス感染症とは

「新型コロナウイルス」は風邪様症状を引き起こすコロナウイルスのひとつです。

発症すると、発熱、咳、全身倦怠感等の風邪様症状が出現します（様々な症状が出現します）。発病しても約8割は軽症で経過し治ります。

一部のものは、主に5~14日間で呼吸困難等の症状が現れ、肺炎になる場合があります。高齢者および基礎疾患がある方においては、重症化するリスクが一定あるとされています。

潜伏期間と感染可能期間

①潜伏期間

1~14日（平均は約5日） ※WHO 情報より

※感染の可能性（患者との濃厚接触）があった最終日から、2週間は発熱や風邪様症状の出現に注意し、不要不急の外出を控え、自宅で過ごします。

②感染可能期間

発熱・咳・呼吸困難等の急性の呼吸器症状など新型コロナウイルス感染症を疑う症状が出現した2日程度前（無症状の時）から感染します。

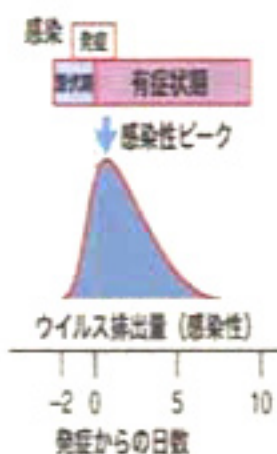
新型コロナウイルスの 感染力について

インフルエンザと比較すると、発症の前日が感染力が最も高く、発病後次第に低下します。

新型コロナウイルスに感染した方が他人に感染させる事例は、全体の2割ですが、遺体においては呼吸や咳などの飛沫感染による感染のおそれはありません。接触による感染予防として、手袋、マスク、ガウンなどをつけて対応してください。

<https://doi.org/10.1038/s41591-020-0859-5>より

季節性インフルエンザ



新型コロナウイルス感染症



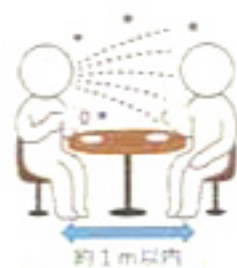
感染の仕方

飛沫感染、接触感染で感染します。
(季節性インフルエンザと同じです)

①飛沫感染

感染者の飛沫(くしゃみ、咳、つばなど)と一緒にウイルスが放出され、他の方がそのウイルスを口や鼻などから吸い込んで感染します。

※換気が不十分で、狭い空間などでは、比較的長い時間ウイルスが空気中に漂うことがあると言われています。



②接触感染

感染者がくしゃみや咳を手で押さえた後、その手で周りの物に触れるとウイルスがつきます。他の方がそれを触るとウイルスが手に付着し、その手で目や口や鼻を触ると粘膜から感染します。

健康な皮膚に付着しただけでは、ウイルスは皮膚から体内には入りません。



新型コロナウイルスはどれだけ生きる？

物の表面についたウイルスは時間がたてば死滅します。ただし、物の種類によっては24時間～72時間くらい感染する力をもつと言われています。

○段ボールの表面では1日程度

○プラスチックの表面では3日程度

※空気中に浮遊し続けません。

感染予防・対策について

○3つの密を避ける

1. 密閉空間 (換気の悪い密閉空間)
2. 密集場所 (多くの人が密集)
3. 密接場面 (手を伸ばしたら届く距離での会話や共同行為)

「3つの密」の回避、マスクの着用、石けんによる手洗いや手指消毒用アルコールによる消毒の励行などをお願いします。洗っていない手で、目・鼻・口を触らないように。

ウイルスの除去について

○手についたウイルス

- ・石鹸による手洗いで除去（十分な水洗いが大切）
- ・アルコール消毒薬（約70~80%）による消毒

○物についたウイルス

消毒薬による拭き取りで除去

- ・アルコール消毒薬（約70~80%）
- ・次亜塩素酸ナトリウム溶液（キッチンハイター等）の希釈液（0.05%）

石けんやハンドソープを使った丁寧な手洗いを行ってください。



手洗いを丁寧に行うことで、十分にウイルスを除去できます。さらにアルコール消毒薬を使用する必要はありません。

手洗い		残存ウイルス
手洗いなし		約 100万個
石けんやハンドソープで10秒もみ洗い後	1回	約 0.01% (数百個)
流水で15秒すすぐ	2回 繰り返す	約 0.0001% (数個)

【資料元：感染症学雑誌、80-496-500,2006から作成】

食器・手すり・ドアノブなど身近な物の消毒には、アルコールよりも、熱水や塩素系漂白剤、及び一部の洗剤が有効です。



食器や箸などは、80℃の熱水に10分間さらすと消毒ができます。火傷には要注意です。



濃度 0.05% に薄めた上で、拭くと消毒ができます。ハイター、ブリーチなど、裏面に作り方を添付しています。

*目や鼻への影響があり、取り扱いは十分注意が必要です。
*必ず製品の注意事項をご確認ください。
*食器は消毒することがあります。



有効な界面活性剤が含まれる「家庭用洗剤」を使って消毒ができます。NTEウェブサイトで見取りリストを公開しています。

[NTE 見取りリスト](#)

[こちらをクリック](#)



確認のめではじめにいうことをちゃんと守り



濃厚接触者とは？

○同居あるいは長時間接触（車内、航空機内等含む）があった者



○標準予防策（マスク・手洗い等）をとらずに診察・看護・介護を行っていた者

○飛沫や痰などの気道分泌液等に直接接触した可能性が高い者



○手で触れることの出来る距離（目安として1メートル）で、標準予防策なしで、「患者」と15分以上の接触があった者



飲酒を伴う懇親会

感染リスクを高めやすい場面



激しい呼吸を伴う運動



大人数やマスクなしでの会話

周辺の環境や接触の状況等、個々の状況から患者の感染性を**保健所が総合的に判断**

感染期間と療養期間について



いつまで新型コロナは感染性があるの？

- ・発症する2日前～発症後5日が最も感染性が強い
- ・軽症～中等症の方は発症10日後には感染性はなくなっている
- ・重症の方も最長で発症20日後には感染性はなくなる（重症の人が20日以内に退院することはまずない）

濃厚接触者になったら

感染期間と療養期間について

PCR検査



最後にあった日から4日程度開けて実施（同居者の場合は時期を検討）

自宅待機



最終接触日から2週間自宅待機

健康観察

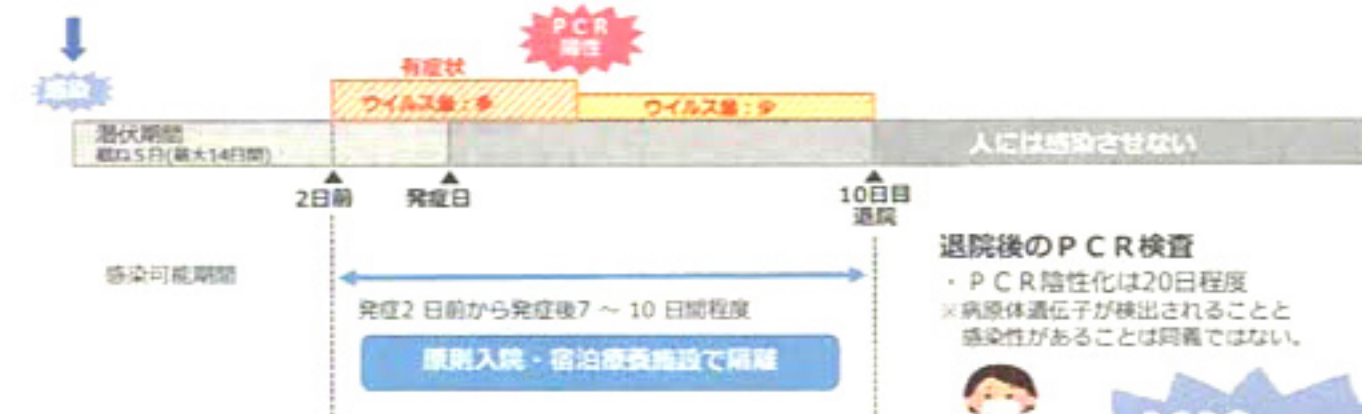


検査結果が「陰性」の場合でも、感染を否定することができません。感染している可能性があるため、不要不急の外出を控え、健康状態に注意してください。



- 濃厚接触者の接触者は？
- 家族の所属で陽性者が！

症状がなければ、学校や仕事をお休みする必要はありません



〈退院基準〉

- ①発症日から10日間経過し、かつ症状軽快後72時間経過
- ②症状がなく、検査をして陽性となった人（無症状病歴保有者）は、検体採取日から10日間経過

厚労省通知

退院基準を満たした人はすでに感染性がなくなっているため、周囲の人に感染を広げることはありません。



PCRの陰性確認や証明は必要なし

標準予防策

- ・サージカルマスクで介護可能
- ・直接体液などに触れそうときは、手袋、ゴーグル、ガウンを着用
- ・過度に個人防護具を着用したり、サービス提供を拒む必要はありません

日ごろの対策～従業員編～

- 健康チェックの実施
- マスクの着用の徹底
- 手洗いの徹底
- 休憩室や食堂の環境整備
(換気、距離を空けて座る、向かい合わない、消毒等)

従業員が感染した時の対応について

- 診断した医師が保健所に発生届を提出
- 居住地の保健所(保健センター)が感染者に聞き取り調査を実施
- 職場の所在地保健所(保健センター)が職場調査を実施
- 濃厚接触者に対して、PCR検査を実施し、2週間の自宅待機と健康観察を依頼

～職場調査にご協力ください～

- ・職場の環境面や日ごろの感染対策(マスクの着用や消毒等)
- ・感染者の従事状況や接触者の状況
- ・職場の従業員の健康状態(他に有症状者がいないか) など

風評被害

感染者、濃厚接触者とその家族、この感染症の対策や治療にあたる医療従事者に対して風評被害が発生しています。

例えば、院内感染が発生した病院では看護師の夫が勤務先の会社から「奥さんが看護師を続ける限り、あなたは出勤できない。会社を辞めるか、奥さんが辞めるか」と迫られたケースやこのほか、妊娠した看護師が医療機関での診療を拒否されたケースもありました。

【感染は自業自得と思う】と答えた人の割合(%)

※三浦麻子・阪大教授ら研究G調査 読売新聞6/29



⇒日本は米国の約11.5倍、英国の約8倍